
市川町景気動向調査

2021年1-3月期

市川町商工会

目 次

I. 調査要領.....	- 1 -
1. 調査目的.....	- 1 -
2. 全国および兵庫県の経済動向調査.....	- 1 -
3. 管内調査.....	- 1 -
II. 全国および兵庫県の経済動向.....	- 2 -
III. 管内調査結果.....	- 3 -
1. 売上高の状況.....	- 3 -
2. 採算（経常利益）の状況.....	- 5 -
3. 資金繰りの状況.....	- 7 -
4. 人材の状況.....	- 10 -
5. 業況の状況.....	- 14 -
6. 設備投資の実施状況.....	- 16 -
7. 最も優先すべき経営上の課題.....	- 18 -

1. 調査要領

1. 調査目的

管内の中小・小規模事業者の景気動向について、その実態を把握すると共に、全国及び兵庫県内の情勢との違いを把握する。

2. 全国および兵庫県の経済動向調査

全国及び兵庫県の景気動向指数、中小企業景況、住宅着工件数、有効求人倍率、倒産件数の動向について整理した。

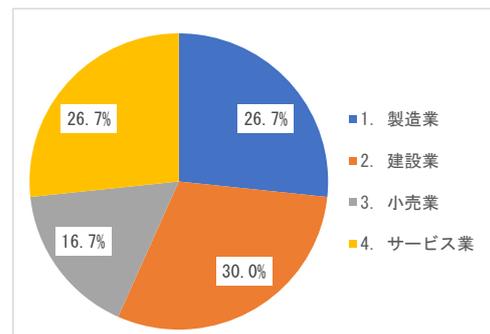
3. 管内調査

市川町商工会管轄内の企業を対象に、アンケート調査を実施した。

(1) 対象企業数…30企業

〈内訳〉

製造業	8社
建設業	9社
小売業	5社
サービス業	8社



(2) 調査方法…商工会の職員による訪問面接調査

(3) 調査対象期間…2021年1月から3月の第4四半期を対象とした。

※指標について

本報告書のD Iとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目において増加・上昇・好転とした企業割合から、減少・低下・悪化とした企業割合を引いたものである。

II. 全国および兵庫県の経済動向

景気総合指数

兵庫県の先行指数と一致指数(R3.1)は、前月を下回った。遅行指数は前月を上回った。

	指数名	R2.11	R2.12	R3.1
兵庫県	先行	97.5	101.9	99.4
	一致	72.9	74.9	71.3
	遅行	89.0	88.6	90.3
全国	先行	96.1	94.9	99.1
	一致	89.0	87.8	91.7
	遅行	91.0	91.7	91.9

出所：「兵庫県の経済雇用情勢」

中小企業景況調査

兵庫県の中小企業の景況は悪化状況が続いているが、製造業ではマイナス幅が縮小している。

前期比（「好転」－「悪化」）構成比（％）

	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3
全産業	▲37.7	▲22.6	▲26.0
製造業	▲52.6	▲29.4	▲22.2
非製造業	▲31.5	▲20.6	▲27.3

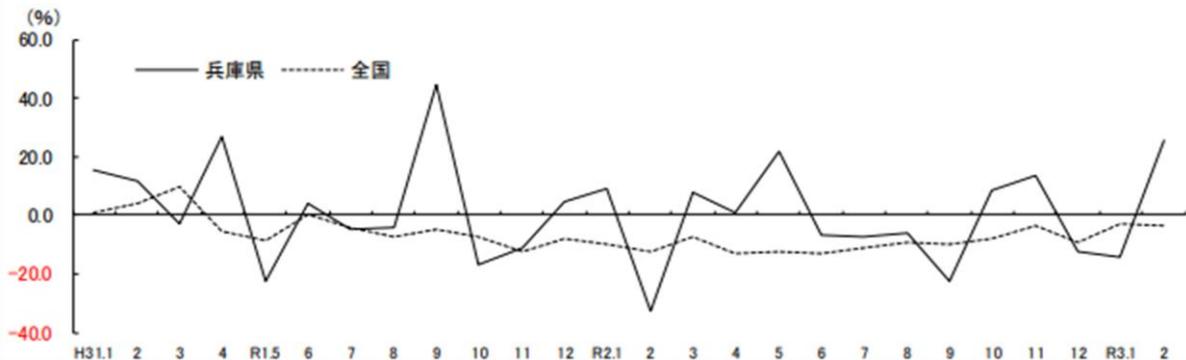
出所：独立行政法人中小企業基盤整備機構

住宅着工件数

兵庫県の新設住宅着工戸数(R3.2)は、3カ月ぶりに前年同月を上回った。

	R2.12	R3.1	R3.2
戸数	2,593	2,201	2,483
前年度比(%)	▲12.5	▲14.5	25.7

新設住宅着工戸数増減率



出所：国土交通省

有効求人倍率

姫路管内の有効求人倍率（R3.3）は1.32倍、兵庫県では0.98倍となった。

	R3.2		
	姫路※	兵庫県	全国
有効求人倍率	1.32	0.98	1.12
新規求人数	3,696	29,735	828,752
前年度比(%)	12.8	4.8	▲0.7

※姫路市・宍粟市・たつの市・神崎郡・揖保郡を含む姫路ハローワーク管轄内

出所：厚生労働省、同兵庫労働局

倒産件数

兵庫県と全国の企業倒産件数は、いずれの月も前年同月を下回った。

		R3.1	R3.2	R3.3
兵庫県	件数	29	19	27
	前年度比(%)	▲17.1	▲40.6	▲22.9
全国	件数	474	446	634
	前年度比(%)	▲38.7	▲31.5	▲14.3

出所：(株)東京商工リサーチ

Ⅲ. 管内調査結果

1. 売上高の状況

(1) 売上高DI

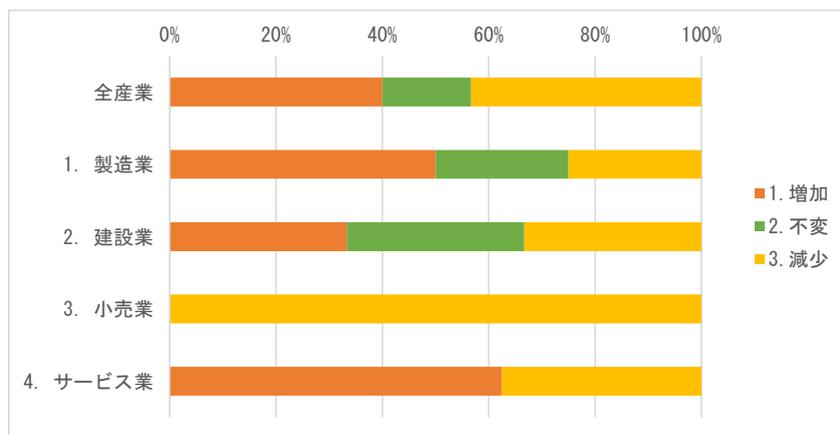
今期の全産業売上高DIは▲3.3となり、前期の▲55.2より大幅に改善した。業種別に見ると、小売業では▲100となったが、その他の業種では、0～25に回復した。

兵庫県や全国と比較すると、兵庫県と全国ではすべての業種がマイナス値となっている一方、市川町では小売業以外はゼロまたはプラス値となり、市川町では小売業以外の回復が進んでいる。

図表1. 業種別の売上高DI

【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.増加	2.不変	3.減少	合計	1.増加	2.不変	3.減少	DI	DI	DI
全産業	12	5	13	30	40.0	16.7	43.3	▲ 3.3	▲ 54.7	▲ 48.9
1. 製造業	4	2	2	8	50.0	25.0	25.0	25.0	▲ 57.8	▲ 45.6
2. 建設業	3	3	3	9	33.3	33.3	33.3	0.0	▲ 18.5	▲ 21.7
3. 小売業	0	0	5	5	0.0	0.0	100.0	▲ 100.0	▲ 60.5	▲ 50.2
4. サービス業	5	0	3	8	62.5	0.0	37.5	25.0	▲ 62.2	▲ 61.1



【参考：前期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.増加	2.不変	3.減少	合計	1.増加	2.不変	3.減少	DI	DI	DI
全産業	4	5	20	29	13.8	17.2	69.0	▲ 55.2	▲ 44.0	▲ 49.0
1. 製造業	1	1	6	8	12.5	12.5	75.0	▲ 62.5	▲ 51.2	▲ 54.6
2. 建設業	1	2	6	9	11.1	22.2	66.7	▲ 55.6	▲ 25.9	▲ 24.1
3. 小売業	0	0	4	4	0.0	0.0	100.0	▲ 100.0	▲ 39.5	▲ 50.4
4. サービス業	2	2	4	8	25.0	25.0	50.0	▲ 25.0	▲ 49.4	▲ 55.4

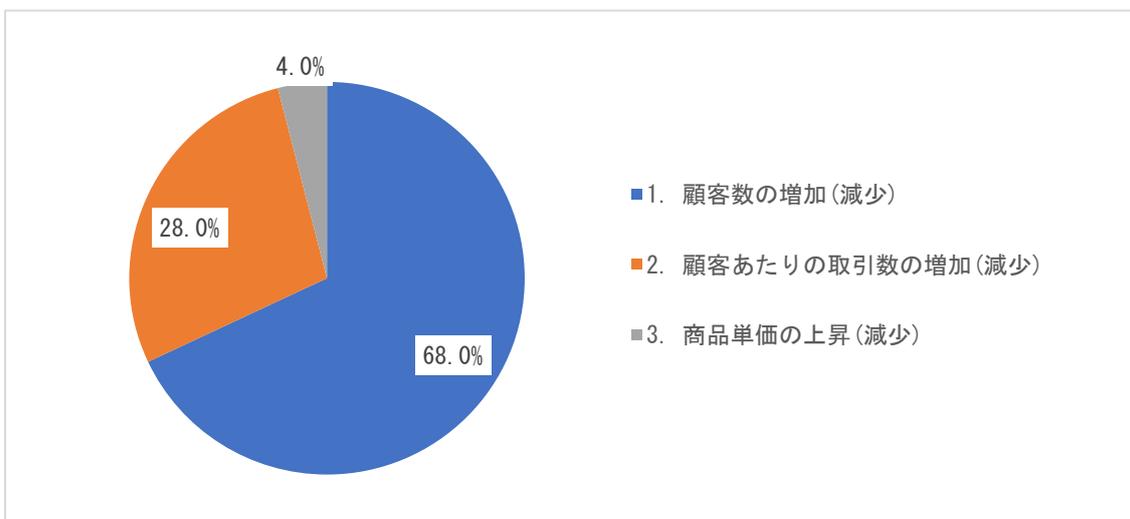
(2) 売上が増加、または減少した理由

売上が増減したと回答した事業所 25 所のうち、主な理由を「顧客数の増減」としたのは約 7 割、「顧客あたりの取引数の増減」としたのは約 3 割であった。前期は取引数を理由にした事業所が多かったのに対し、今期は割合が逆転し顧客数を理由とする事業所が多くなった。

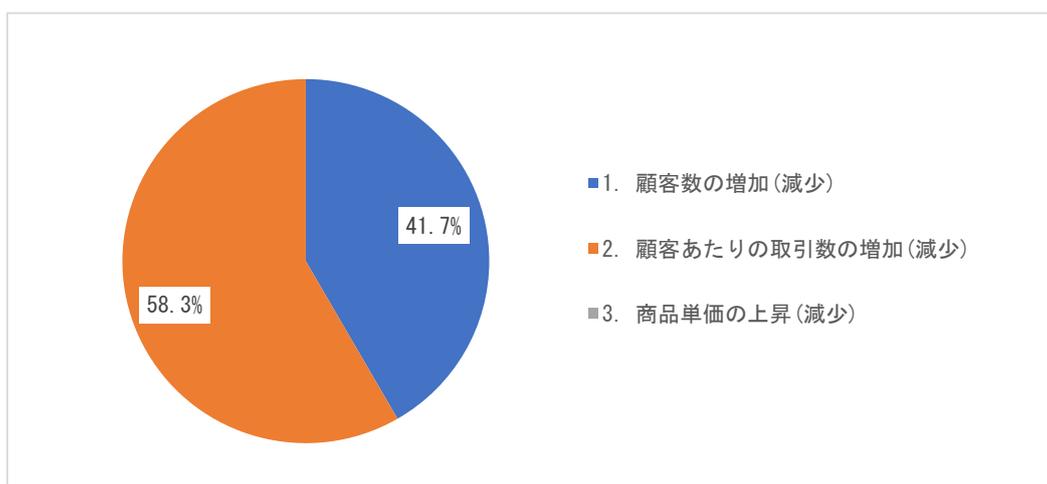
なお、売上が増加した事業所は 12 所あり、増加理由は「顧客数の増加」50.0%、「顧客あたりの取引数の増加」41.7%、「商品単価の上昇」8.3%であった。

図表 2. 売上高増減の理由

【今期調査結果】



【参考：前期調査結果】



2. 採算（経常利益）の状況

(1) 採算D I

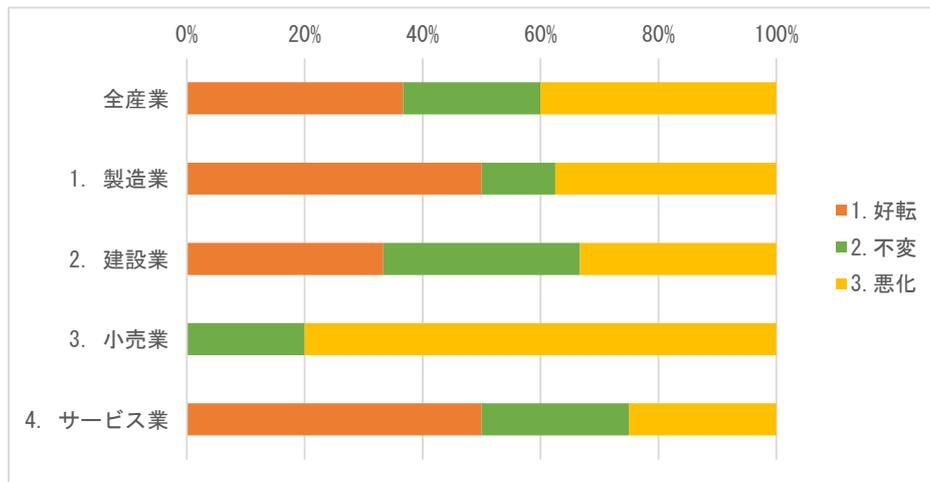
今期の全産業採算D Iは▲3.3となり、前期の▲55.2より大幅に改善した。業種別に見ると、小売業では▲80となったが、その他の業種では、0~25に回復した。

兵庫県の全産業採算D Iは、前回より悪化した。兵庫県と全国ではすべての業種がマイナス値となっている一方、市川町では小売業以外はゼロまたはプラス値となり、市川町では小売業以外の回復が進んでいる。

図表3 業種別の採算D I

【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.好転	2.不変	3.悪化	合計	1.好転	2.不変	3.悪化	DI	DI	DI
全産業	11	7	12	30	36.7	23.3	40.0	▲ 3.3	▲ 46.4	▲ 42.5
1. 製造業	4	1	3	8	50.0	12.5	37.5	12.5	▲ 49.0	▲ 39.4
2. 建設業	3	3	3	9	33.3	33.3	33.3	0.0	▲ 22.2	▲ 20.9
3. 小売業	0	1	4	5	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0	▲ 43.6	▲ 43.5
4. サービス業	4	2	2	8	50.0	25.0	25.0	25.0	▲ 55.3	▲ 52.6



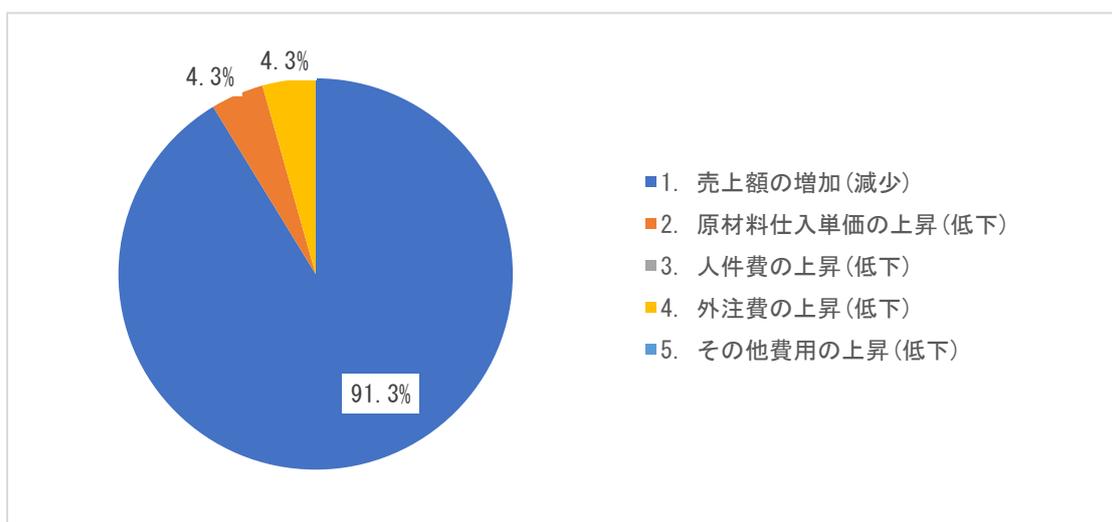
【参考：前期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.好転	2.不変	3.悪化	合計	1.好転	2.不変	3.悪化	DI	DI	DI
全産業	3	7	19	29	10.3	24.1	65.5	▲ 55.2	▲ 40.9	▲ 43.0
1. 製造業	0	2	6	8	0.0	25.0	75.0	▲ 75.0	▲ 48.8	▲ 46.4
2. 建設業	1	3	5	9	11.1	33.3	55.6	▲ 44.4	▲ 40.7	▲ 24.7
3. 小売業	0	0	4	4	0.0	0.0	100.0	▲ 100.0	▲ 33.4	▲ 43.7
4. サービス業	2	2	4	8	25.0	25.0	50.0	▲ 25.0	▲ 41.0	▲ 48.1

(2) 採算が好転、または悪化した理由

採算が好転、または悪化したと回答した事業所 23 所のうち、ほとんどがその理由を「売上高の増減」にあるとした。採算が好転した事業所 11 所はあり、そのうち 9 割は売上額の増加が理由であった。

図表 4. 採算好転悪化の理由



3. 資金繰りの状況

(1) 資金繰りDI

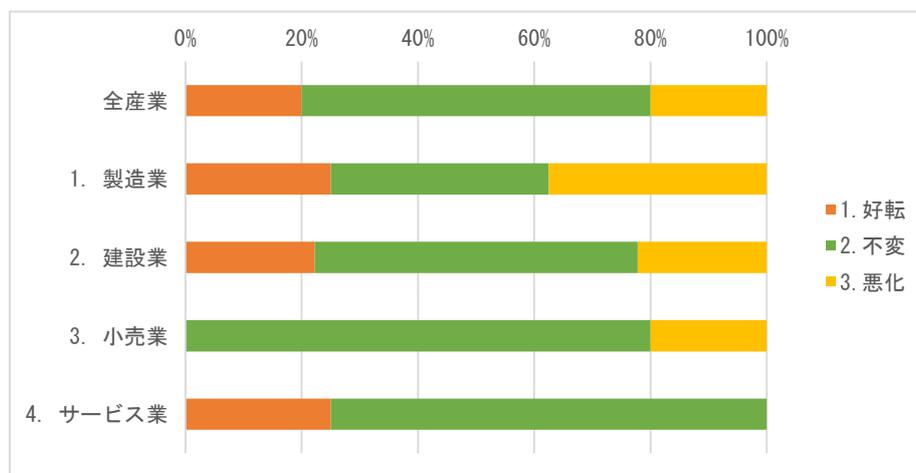
今期の全産業資金繰りDIは、ゼロとなった。業種別に見ると、製造業と小売業では引き続きマイナス値であるものの、前回より改善している。サービス業では、マイナスからプラスに転じた。

兵庫県と比較すると、製造業と小売業では市川町の方がマイナス幅が大きい。全国と比較すると、いずれの業種でも市川町の方が良い数値となっている。

図表5. 業種別の資金繰りDI

【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.好転	2.不変	3.悪化	合計	1.好転	2.不変	3.悪化	DI	DI	DI
全産業	6	18	6	30	20.0	60.0	20.0	0.0	▲ 22.2	▲ 28.4
1. 製造業	2	3	3	8	25.0	37.5	37.5	▲ 12.5	▲ 11.1	▲ 24.7
2. 建設業	2	5	2	9	22.2	55.6	22.2	0.0	▲ 14.8	▲ 9.2
3. 小売業	0	4	1	5	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0	▲ 14.6	▲ 27.6
4. サービス業	2	6	0	8	25.0	75.0	0.0	25.0	▲ 36.5	▲ 39.0



【参考：前期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.好転	2.不変	3.悪化	合計	1.好転	2.不変	3.悪化	DI	DI	DI
全産業	4	16	9	29	13.8	55.2	31.0	▲ 17.2	▲ 19.2	▲ 26.6
1. 製造業	0	6	2	8	0.0	75.0	25.0	▲ 25.0	▲ 22.3	▲ 28.7
2. 建設業	3	3	3	9	33.3	33.3	33.3	0.0	▲ 25.9	▲ 11.7
3. 小売業	0	2	2	4	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 8.4	▲ 26.1
4. サービス業	1	5	2	8	12.5	62.5	25.0	▲ 12.5	▲ 22.3	▲ 32.0

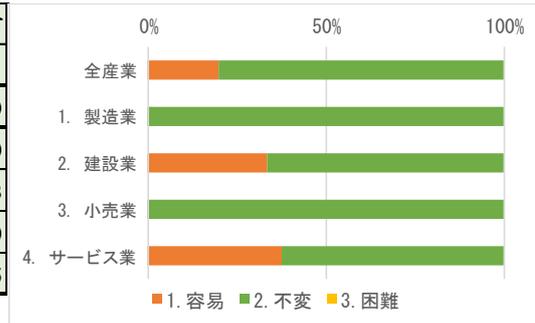
(2) 取引先からの資金回収

今期の全産業資金回収DIは20.0で、前期より9.7ポイント改善している。回収困難とする事業所数は皆無となった。

図表6. 業種別の資金回収DIの状況

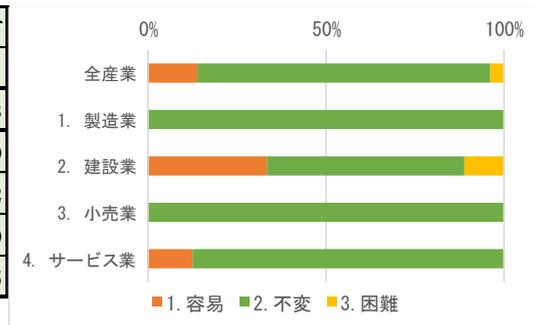
【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町 DI
	1.容易	2.不変	3.困難	合計	1.容易	2.不変	3.困難	
全産業	6	24	0	30	20.0	80.0	0.0	20.0
1. 製造業	0	8	0	8	0.0	100.0	0.0	0.0
2. 建設業	3	6	0	9	33.3	66.7	0.0	33.3
3. 小売業	0	5	0	5	0.0	100.0	0.0	0.0
4. サービス業	3	5	0	8	37.5	62.5	0.0	37.5



【参考：前期調査結果】

	企業数				構成比			市川町 DI
	1.容易	2.不変	3.困難	合計	1.容易	2.不変	3.困難	
全産業	4	24	1	29	13.8	82.8	3.4	10.3
1. 製造業	0	8	0	8	0.0	100.0	0.0	0.0
2. 建設業	3	5	1	9	33.3	55.6	11.1	22.2
3. 小売業	0	4	0	4	0.0	100.0	0.0	0.0
4. サービス業	1	7	0	8	12.5	87.5	0.0	12.5



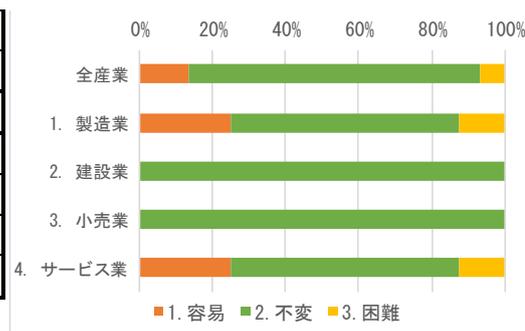
(3) 借入の容易さ

今期の全産業借入の容易さDIは6.7で、前期の13.8より下7.1ポイント下がった。今回は「困難」とする事業所が無かったが、今回は2事業所あった。

図表7. 業種別の借入DIの状況

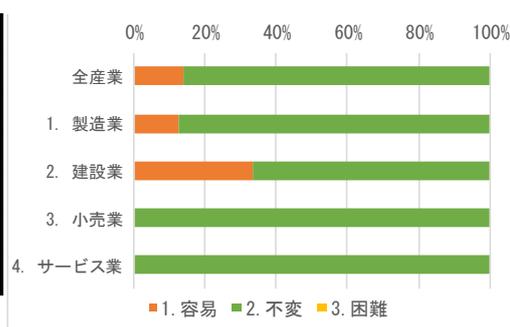
【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町 DI
	1.容易	2.不変	3.困難	合計	1.容易	2.不変	3.困難	
全産業	4	24	2	30	13.3	80.0	6.7	6.7
1. 製造業	2	5	1	8	25.0	62.5	12.5	12.5
2. 建設業	0	9	0	9	0.0	100.0	0.0	0.0
3. 小売業	0	5	0	5	0.0	100.0	0.0	0.0
4. サービス業	2	5	1	8	25.0	62.5	12.5	12.5



【参考：前期調査結果】

	企業数				構成比			市川町 DI
	1.容易	2.不変	3.困難	合計	1.容易	2.不変	3.困難	
全産業	4	25	0	29	13.8	86.2	0.0	13.8
1. 製造業	1	7	0	8	12.5	87.5	0.0	12.5
2. 建設業	3	6	0	9	33.3	66.7	0.0	33.3
3. 小売業	0	4	0	4	0.0	100.0	0.0	0.0
4. サービス業	0	8	0	8	0.0	100.0	0.0	0.0



4. 人材の状況

(1) 人材D I

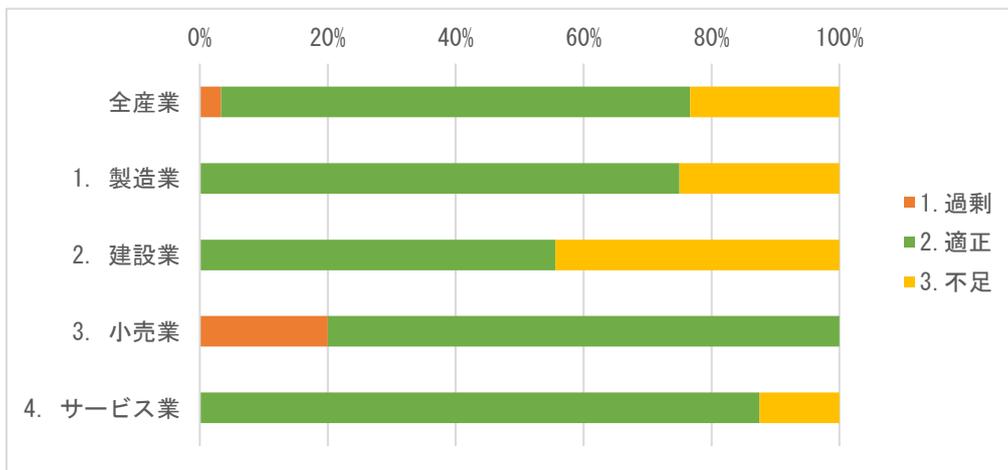
今期の全産業人材D Iは▲20.0と、前期の▲6.9からマイナス幅が広がった。建設業の人材不足は変わらないものの、製造業とサービス業は、過剰から不足に転じている。

兵庫県や全国では、前期よりややマイナス幅が縮小したが、引き続き全ての業種で不足傾向となっている。

図表8. 業種別人材D I

【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.過剰	2.適正	3.不足	合計	1.過剰	2.適正	3.不足	DI	DI	DI
全産業	1	22	7	30	3.3	73.3	23.3	▲ 20.0	▲ 11.7	—
1. 製造業	0	6	2	8	0.0	75.0	25.0	▲ 25.0	▲ 2.2	▲ 8.6
2. 建設業	0	5	4	9	0.0	55.6	44.4	▲ 44.4	▲ 36.0	▲ 30.0
3. 小売業	1	4	0	5	20.0	80.0	0.0	20.0	▲ 4.9	▲ 7.1
4. サービス業	0	7	1	8	0.0	87.5	12.5	▲ 12.5	▲ 13.2	▲ 7.4



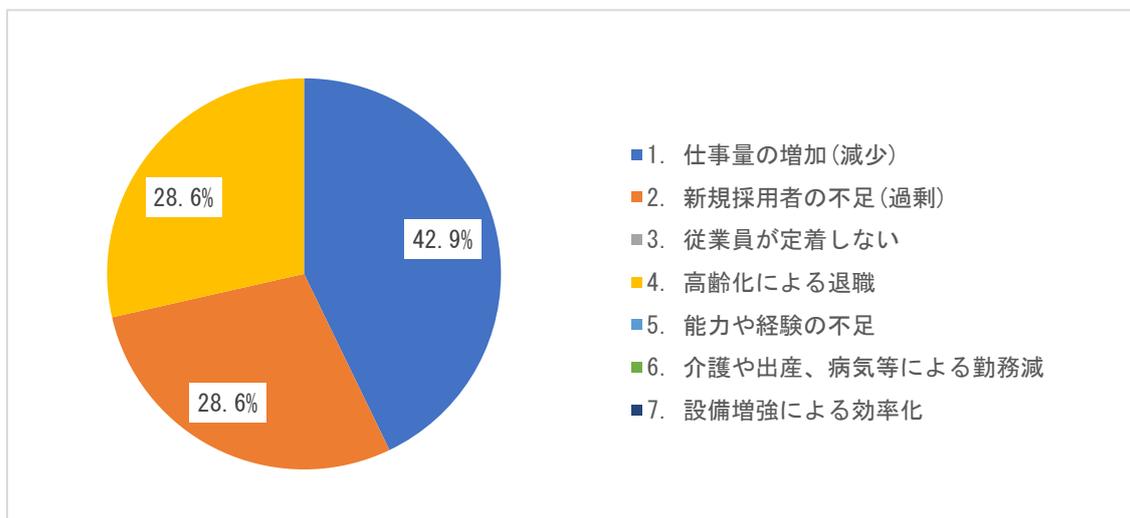
【参考：前期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.過剰	2.適正	3.不足	合計	1.過剰	2.適正	3.不足	DI	DI	DI
全産業	2	23	4	29	6.9	79.3	13.8	▲ 6.9	▲ 17.4	—
1. 製造業	1	7	0	8	12.5	87.5	0.0	12.5	▲ 6.7	▲ 6.8
2. 建設業	0	5	4	9	0.0	55.6	44.4	▲ 44.4	▲ 36.0	▲ 31.3
3. 小売業	0	4	0	4	0.0	100.0	0.0	0.0	▲ 9.8	▲ 8.7
4. サービス業	1	7	0	8	12.5	87.5	0.0	12.5	▲ 22.4	▲ 11.2

(2) 人材が過剰又は不足の理由

人材に過不足があると回答した7所で、最も多かった理由は「仕事量の増減(42.9%)」であった。その他には、「新規採用者の過不足」「高齢化による退職」といった理由が挙げられた。

図表9. 人材過不足の理由



(3) 従業員数（含む臨時・パート）

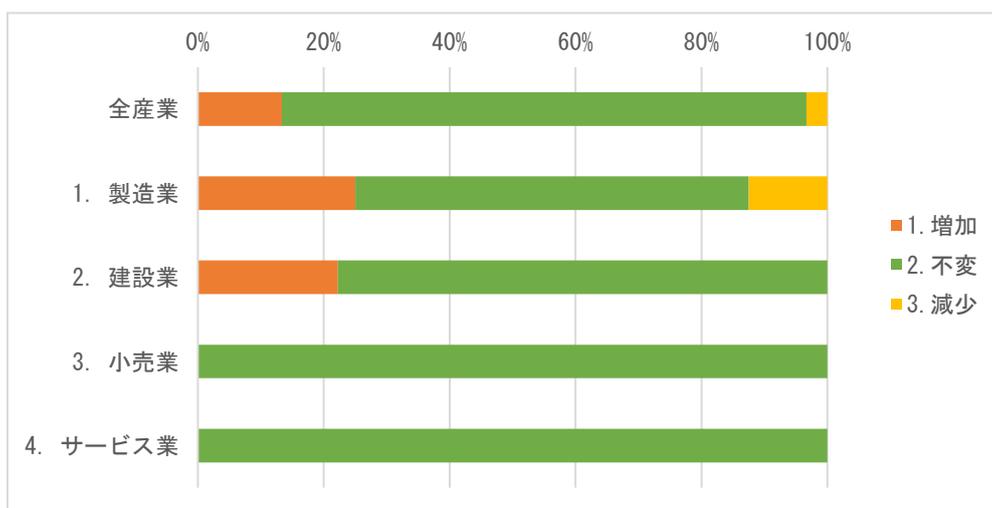
従業員数D Iは、全業種でゼロまたはプラス値となっており、従業員数は不変、または増加傾向にある。

兵庫県や全国では、全ての業種でマイナス値となり、前期よりも減少傾向である。

図表10. 業種別の従業員数D I

【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.増加	2.不変	3.減少	合計	1.増加	2.不変	3.減少	DI	DI	DI
全産業	4	25	1	30	13.3	83.3	3.3	10.0	▲ 9.9	—
1. 製造業	2	5	1	8	25.0	62.5	12.5	12.5	▲ 8.9	▲ 10.4
2. 建設業	2	7	0	9	22.2	77.8	0.0	22.2	▲ 20.0	▲ 6.0
3. 小売業	0	5	0	5	0.0	100.0	0.0	0.0	▲ 2.4	▲ 6.0
4. サービス業	0	8	0	8	0.0	100.0	0.0	0.0	▲ 11.6	▲ 11.1



【参考：前期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.増加	2.不変	3.減少	合計	1.増加	2.不変	3.減少	DI	DI	DI
全産業	2	27	0	29	6.9	93.1	0.0	6.9	▲ 3.9	—
1. 製造業	1	7	0	8	12.5	87.5	0.0	12.5	▲ 6.7	▲ 11.2
2. 建設業	0	9	0	9	0.0	100.0	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 6.9
3. 小売業	0	4	0	4	0.0	100.0	0.0	0.0	5.0	▲ 2.9
4. サービス業	1	7	0	8	12.5	87.5	0.0	12.5	▲ 6.0	▲ 8.5

(4) 外部人材

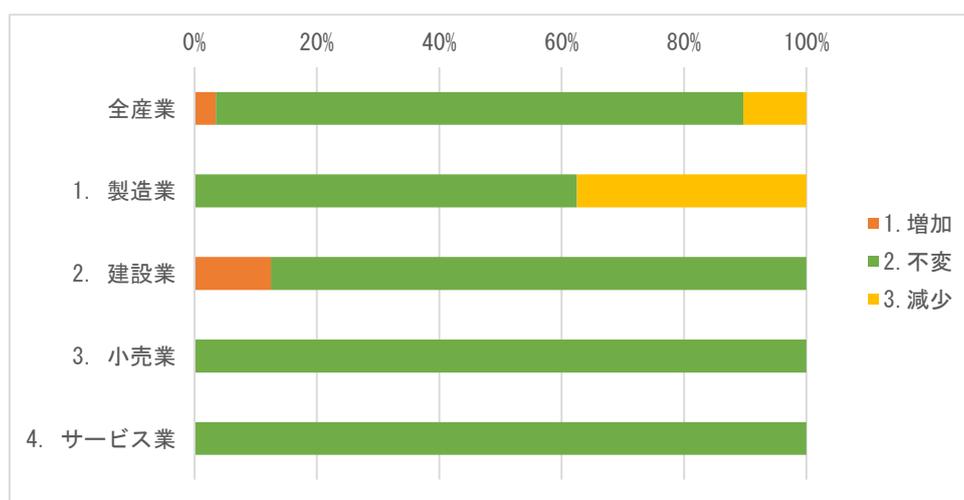
外部人材DIは、製造業では減少が多くマイナス幅が広がった。小売業は前期はマイナス値であったが、ゼロになった。

兵庫県や全国では、ほとんどの業種で前期より悪化しており、外部人材は減少傾向である。

図表 1 1 . 業種別の外部人材DI

【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.増加	2.不変	3.減少	合計	1.増加	2.不変	3.減少	DI	DI	DI
全産業	1	25	3	29	3.4	86.2	10.3	▲ 6.9	▲ 9.4	—
1. 製造業	0	5	3	8	0.0	62.5	37.5	▲ 37.5	▲ 12.9	▲ 6.8
2. 建設業	1	7	0	8	12.5	87.5	0.0	12.5	▲ 24.0	▲ 2.2
3. 小売業	0	5	0	5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	▲ 3.6
4. サービス業	0	8	0	8	0.0	100.0	0.0	0.0	▲ 5.5	▲ 9.1



【参考：前期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.増加	2.不変	3.減少	合計	1.増加	2.不変	3.減少	DI	DI	DI
全産業	2	23	3	28	7.1	82.1	10.7	▲ 3.6	▲ 5.2	—
1. 製造業	0	6	1	7	0.0	85.7	14.3	▲ 14.3	▲ 3.1	▲ 8.3
2. 建設業	2	6	1	9	22.2	66.7	11.1	11.1	▲ 17.4	▲ 2.0
3. 小売業	0	3	1	4	0.0	75.0	25.0	▲ 25.0	3.3	▲ 2.7
4. サービス業	0	8	0	8	0.0	100.0	0.0	0.0	▲ 5.8	▲ 6.6

5. 業況の状況

(1) 業況D I

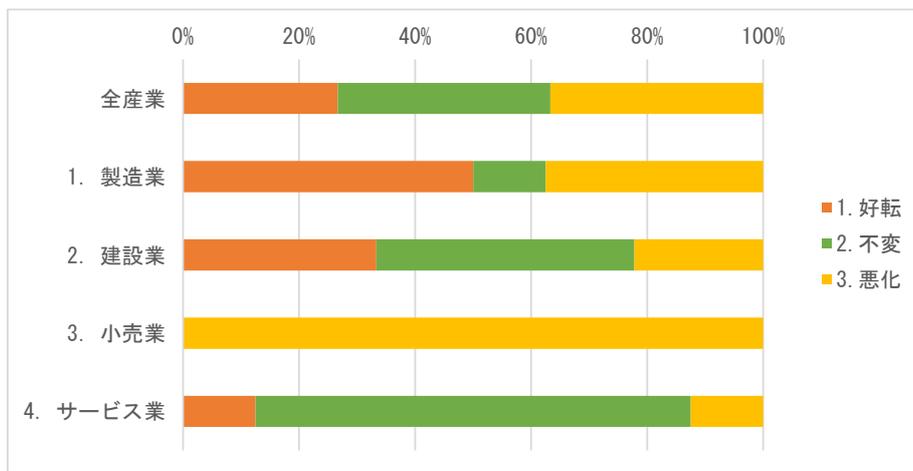
今期の全業種業況D Iは▲10.0で、前期の▲41.4より改善した。小売業は引き続き▲100であった、他の3業種はゼロまたはプラス値となった。

兵庫県や全国では、前期に引き続き全ての業種がマイナス値であり、業況は改善していない。小売業を除き、市川町は兵庫県や全国と比較すると業況が良いと言える。

図表12. 業種別の業況D I

【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.好転	2.不変	3.悪化	合計	1.好転	2.不変	3.悪化	DI	DI	DI
全産業	8	11	11	30	26.7	36.7	36.7	▲ 10.0	▲ 43.3	—
1. 製造業	4	1	3	8	50.0	12.5	37.5	12.5	▲ 42.3	▲ 40.6
2. 建設業	3	4	2	9	33.3	44.4	22.2	11.1	▲ 11.1	▲ 16.0
3. 小売業	0	0	5	5	0.0	0.0	100.0	▲ 100.0	▲ 43.6	▲ 44.6
4. サービス業	1	6	1	8	12.5	75.0	12.5	0.0	▲ 55.3	▲ 55.9



【参考：前期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.好転	2.不変	3.悪化	合計	1.好転	2.不変	3.悪化	DI	DI	DI
全産業	3	11	15	29	10.3	37.9	51.7	▲ 41.4	▲ 43.1	—
1. 製造業	1	2	5	8	12.5	25.0	62.5	▲ 50.0	▲ 51.1	▲ 49.5
2. 建設業	1	6	2	9	11.1	66.7	22.2	▲ 11.1	▲ 33.3	▲ 22.1
3. 小売業	0	0	4	4	0.0	0.0	100.0	▲ 100.0	▲ 31.3	▲ 45.7
4. サービス業	1	3	4	8	12.5	37.5	50.0	▲ 37.5	▲ 49.3	▲ 49.0

(2) 業況判断の背景 (自由回答)

引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が見られ、「緊急事態宣言の影響」、「コロナで材料が入らない」、「イベントの中止で収益が減少」などの回答があった。

「昨年より売上、利益とも減っている」「来店客が少ない日もある」といった厳しい状況も聞かれる一方、「仕事量が増加する傾向」「新規の取引商品が増加」などの声もあった。

6. 設備投資の実施状況

(1) 今期の設備投資

今期に設備投資した事業所は20.0%であった。前回と比べてやや増加している。また、兵庫県の17.2%に比べてやや多い割合となった。

図表13. 今期の設備投資実施状況

【今期調査結果】

	企業数			構成比		兵庫県構成比		全国構成比	
	1.実施した	2.実施していない	合計	1.実施した	2.実施していない	1.実施した	2.実施していない	1.実施した	2.実施していない
全産業	6	24	30	20.0	80.0	17.2	82.8	—	—
1. 製造業	1	7	8	12.5	87.5	13.3	86.7	15.1	84.9
2. 建設業	2	7	9	22.2	77.8	22.2	77.8	18.7	81.3
3. 小売業	0	5	5	0.0	100.0	10.4	89.6	11.2	88.8
4. サービス業	3	5	8	37.5	62.5	10.8	89.2	14.3	85.7



【参考：前期調査結果】

	企業数			構成比		兵庫県構成比		全国構成比	
	1.実施した	2.実施していない	合計	1.実施した	2.実施していない	1.実施した	2.実施していない	1.実施した	2.実施していない
全産業	5	24	29	17.2	82.8	26.7	73.3	—	—
1. 製造業	1	7	8	12.5	87.5	13.3	86.7	16.3	83.7
2. 建設業	4	5	9	44.4	55.6	18.5	81.5	19.5	80.5
3. 小売業	0	4	4	0.0	100.0	25.0	75.0	15.0	85.0
4. サービス業	0	8	8	0.0	100.0	31.5	68.5	19.6	80.4

(2) 来期の設備投資

来期に設備投資を予定している事業所は 36.7%で、前回の 17.2%より増加した。兵庫県
 県の 20.1%と比較しても、多い割合となった。

図表 1 4. 来期の設備投資計画

【今期調査結果】

	企業数			構成比		兵庫県構成比		全国構成比	
	1.予定している	2.予定していない	合計	1.予定している	2.予定していない	1.予定している	2.予定していない	1.予定している	2.予定していない
全産業	11	19	30	36.7	63.3	20.1	79.9	—	—
1. 製造業	2	6	8	25.0	75.0	20.0	80.0	18.2	81.8
2. 建設業	3	6	9	33.3	66.7	25.9	74.1	19.3	80.7
3. 小売業	1	4	5	20.0	80.0	14.6	85.4	12.7	87.3
4. サービス業	5	3	8	62.5	37.5	21.6	78.4	15.0	85.0



【参考：前期調査結果】

	企業数			構成比		兵庫県構成比		全国構成比	
	1.予定している	2.予定していない	合計	1.予定している	2.予定していない	1.予定している	2.予定していない	1.予定している	2.予定していない
全産業	5	24	29	17.2	82.8	18.0	82.0	—	—
1. 製造業	1	7	8	12.5	87.5	17.8	82.2	16.8	83.2
2. 建設業	2	7	9	22.2	77.8	29.6	70.4	15.9	84.1
3. 小売業	0	4	4	0.0	100.0	14.6	85.4	11.1	88.9
4. サービス業	2	6	8	25.0	75.0	20.5	79.5	15.2	84.8

7. 最も優先すべき経営上の課題

今期に最も優先すべき経営上の課題は、「ニーズ変化への対応」が23.3%と最も多かった。次いで、「人材の確保、人材育成」が20.0%、「販路開拓・営業力の強化」が16.7%と続く。

「その他」の回答として、「特になし」「経営者の健康」が挙げられた。

販路開拓や競合企業との差別化といった、市場のシェアを高める活動よりも、ニーズ変化への対応といった問題へシフトしている傾向がうかがえる。変化する市場環境や顧客ニーズに対し、柔軟に対応できるような支援が求められる。

また、採算や業況の回復傾向が見られ、今後は人材不足が再度顕在化することが考えられる。採用や育成に関する支援の必要性が高まることが予想される。

図表15. 経営上の課題

